



## Green Community — TAGONISHI —

グリーン・コミュニティ 田子西は、  
 仙台市中心部から北東へ約7km、JR仙石線福田町駅から約1kmに位置します。  
 三陸自動車道と仙台東部道路にアクセス可能な仙台港ICからは約2km。  
 周辺には、国道4号、国道45号、県道8号(通称利府街道)があり、  
 交通アクセスの良い住宅地です。

一般社団法人 仙台グリーン・コミュニティ推進協議会  
 国際航業株式会社

人々と環境にやさしい、  
 未来のまちづくりがはじまります。

# Green Community

— TAGONISHI —





# 誕生、 グリーン・コミュニティ 田子西 安心して快適に暮らせる新しいまちづくりがはじまります。

グリーン・コミュニティ 田子西が目指すもの。それはエネルギー消費を抑制しながら、快適な暮らしを提供できる、新しい仕組みを創り出すこと。そして、東日本大震災で被災された皆様の暮らしをいち早く取り戻すために、災害に強く、自然と調和する快適なコミュニティを創り出すことです。

省エネ、環境共生、さらに防災につながるエネルギー管理の最新技術などが、このまちならではの快適な暮らしを実現します。

最新の都市デザインから生まれた3つのエリア。  
エリアごとに特徴あるまちづくりが行われています。

## 復興公営住宅街区

住む方々がコミュニケーションを取りやすい空間デザインを提供します。



※写真・CGはイメージです。実際と異なります。

仙台市が整備する全176戸の復興公営住宅。中庭を中心に中層住棟4棟を広場や通路でつなぐ分棟ネットワーク型住宅として建設がはじまりました。

仙台市のエコモデルタウン構想に基づき太陽光発電などを活用し、デマンドレスポンス\*や停電時には太陽光発電や蓄電池の電力を集会所へ供給するなどのエネルギー管理システムを導入します。

※デマンドレスポンス：ポイント還元などにより、電力のピーク需要削減や各家庭の節電を促進する仕組み。

## スマートヴィレッジ街区

先進的なテクノロジーと建築デザイン、コミュニティを融合させた快適な暮らしを提供します。

緑あふれる共有広場、日々の暮らしが楽しくなる小路などの環境に、太陽光発電、自立型エネファームなどを活用した最先端のシステムが取り入れられた街区です。東北大学と民間企業が連携して開発した自然・テクノロジー・コミュニティが一体となった新しい形の生活環境が生まれます。

## 商業施設街区

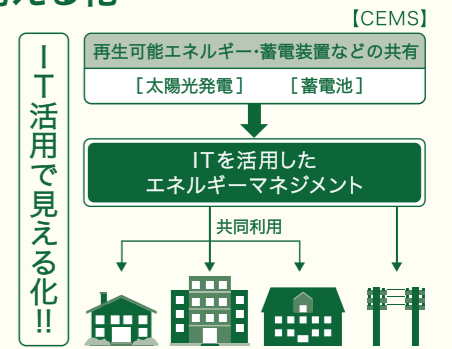
日々の暮らしを彩る、ショッピングモール・エリアです。

毎日の生活に必要なものから、休日の笑顔のひとつまで、さまざまな楽しみを提供する商業施設が揃う予定です。災害時にも皆さまの安心につながる施設運営を目指します。



## まちのエネルギーを見える化

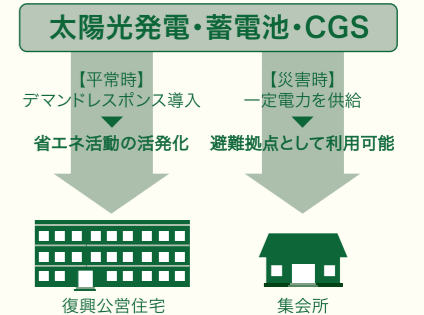
CEMS(コミュニティ・エネルギー・マネジメントシステム)を導入することで、スマートヴィレッジ街区と復興公営住宅街区を中心に、エネルギーの見える化を図ります。各家庭のエネルギー消費の見える化だけでなく、地区全体の総発電量や消費電力など見える化も実現します。



\*運営管理は一般社団法人仙台グリーン・コミュニティ推進協議会が行います。

## 復興公営住宅のエネルギー管理

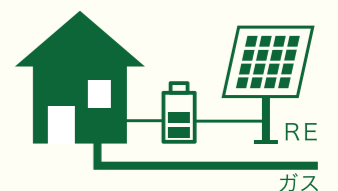
復興公営住宅では高圧一括受電と合わせて、デマンドレスポンスを導入。これにより各ご家庭の省エネ活動をより活性化させることを目指しています。また電力供給においては、太陽光発電と蓄電池、CGS(コージェネレーションシステム)を組み合わせ、災害時には一定電力を集会所に供給し、集会所が避難拠点として利用できる体制を整えています。



\*運営管理は一般社団法人仙台グリーン・コミュニティ推進協議会が行います。

## エネルギーのベストミックスを促進

スマートヴィレッジ街区では、太陽光を中心とした再生可能エネルギー(RE)を積極的に利用していきます。特定のエネルギー供給に過度に依存しない、エネルギー効率の高いシステムを構築。さらに蓄電池も活用し、非常時にも電力供給が可能な仕組みを整えています。



## 次世代を見据えたインフラ

EV(電気自動車)やPHV(プラグインハイブリッド自動車)など、低炭素の次世代エコカーなどの普及を促進するため、コミュニティ内に充電設備などのインフラを整備します。

